

製品名: PTP4A2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87467**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:19 kDa; Observed MW:19 kDa

抗原情報

遺伝子名	PTP4A2
別名	HH13; OV-1; PRL2; HH7-2; PRL-2; PTP4A; HU-PP-1; PTPCAAX2; ptp-IV1a; ptp-IV1b
遺伝子 ID	8073
SwissProt ID	Q12974
免疫原	ヒト PTP4A2/PRL2 の合成ペプチド

背景

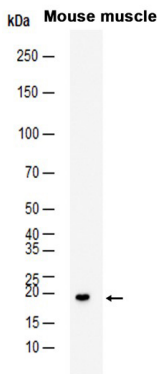
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質チロシンホスファターゼ（PTP）ファミリーの小さなクラスに属しま

す。PTP は、様々な細胞プロセスにおいて制御的な役割を果たす細胞シグナル伝達分子です。このクラスの PTP は、タンパク質チロシンホスファターゼ触媒ドメインと特徴的な C 末端プレニル化モチーフを有しています。この PTP は、C 末端プレニル化を介して主に細胞膜およびエンドソーム膜に結合することが示されています。この PTP は、Rab ゲラニルゲラニルトランスフェラーゼ II (β GGT II) の β サブユニットと相互作用することが確認されており、GGT II 活性の調節因子として機能する可能性があります。哺乳類細胞におけるこの遺伝子の過剰発現は、形質転換された表現型をもたらし、腫瘍形成における役割を示唆しています。選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションが報告されています。関連する偽遺伝子は、11 番染色体、12 番染色体、および 17 番染色体上に存在する。[RefSeq 提供、2010 年 8 月]

研究分野

-

画像データ



PTP4A2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス筋肉組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。